

きどころイントラの 教本に載っていないワンポイント座学

2025 年 3 月 16 日

第 12 回 何を信じて上達すれば良いのか？

主にスクール生の皆さんへ。(もっと上達したい P 証の方にも)

パラグライダーを始めて、その特異な社会性やスクーリング体制に驚いた方も多いのではないのでしょうか？

それは日本でパラグライダーが始まって約40年という比較的歴史が浅くて、競技人口が少ないスポーツという影響が大きいと思います。

そんな中でも【より安全に、より上達して、よりパラグライダーを楽しみたい】という方の為に、今回は『何を信じて上達すれば良いのか？』を、きどころ的に説明したいと思います。



① JHF や JPA の教本 【信頼度: 約90%】

皆さんが所属しているスクールで使用されている教本。

スクールによってはあまり使われていないところもあるようですが、

何はさておき**重要な教科書**である事は間違いありません。

正しい事を中心にまとめているので、補足的な**内容がやや不足**していたり、稀に**微妙なところ**もありますが、上達の骨筋になる事は確かだと思います。本を読むのは面倒と感じる方もいるかもしれませんが、最低でも**数回は読み通して、不明なところはマーキング**して、信じられる**インストラクターに質問**しましょう。不明な部分を放置しては折角読んだ効果も半減します。

教本の内容は各コースの**学科と実技**に分かれています。

特に**自分の受講コース以下の内容はしっかりと理解**しておきましょう。



【学科】

なるべく早めに自習して、コース半ばには既に終わらせておくぐらいがオススメです。

【実技】

早めに自習しても、いきなりフライトで実践しないように注意。

内容次第では危険に繋がる事もあるので、**必ず事前にインストラクターに充分な説明を聞いて良く理解してから実技練習**を行いましょう。

学科と実技の知識をしっかりと理解してフライトすることで、より安全に、より早く上達し、知識と技術が噛み合う楽しさを感じられるメリットがあります。これはとても大きなマージンです。

② スクールのインストラクター 【信頼度: 約80～95%】

皆さんが所属しているスクール(エリア)のインストラクターの方々ですが、皆さんそれぞれ個性があります。過去にどこで誰からどういう風に育ってきたかで**流派?の様なもの**がある場合が殆どです。

飛びは上手いけど教えるのは苦手なタイプ、逆に教えるのが得意なタイプ、人気があるタイプ、喋りが上手いタイプ、厳しいタイプ、優しいタイプ、古いタイプ、新しいタイプ、等々。誰に何を聞くのか?それがどこまで信用できるのか?よく考えてから質問して、聞いた結果、どのくらい**自分が納得できる**のか? **共感できる**のか?等を感じてください。自分と気の合ったインストラクターが見つかり、より良い上達ができます。



③ カリスマパイロット 【信頼度: 約65～85%】

ディーラーやコンペティターとして知名度が高いパイロットの方々。

中にはインストラクターとしての実績も兼ね備えた方もいますが、

必ずしも「知名度＝アドバイス力」ではない事もあります。

その様な方々からご指導を頂く機会があるかもしれません。それは**最新の情報**だったり、とても**貴重なアドバイス**だったりしますが、アドバイスに関しては、なるべくあなたの事をよく知っている方を信用してください。

一般にアドバイスは、パイロットのレベルや性格に合わせて選ぶ必要があります。

合わないアドバイスは誤解を生み、逆効果になる事さえあります。

これは誰からのアドバイスでも同じですので、充分考えたうえで信用してください。



④ エリアの親切なベテランフライヤー 【信頼度: 約30～50%】

皆さんのエリアで長く飛んでいる親切なベテラン～先輩フライヤーの方々から、沢山のアドバイスを頂くとします。それは**概ね、役立つ内容が多い**と思います。

特に教える事についてもベテラン(長く沢山教えている)なら、信頼度も高まると思います。

但し、人によって**感覚が違いますし**、特にレベルの高い方の意見は、**スクール生には適さない**事も多々あります。よく注意して聞き入れましょう。



⑤ 同時期のフライト仲間 【信頼度: 約30～50%】

概ね同時期にパラグライダーを始めたスクール生同士は、仲良くなりやすいです。

その上での情報やアドバイスは、ある程度の**信頼性**がありますし、あなたの**意欲向上**にも役立つと思います。

しかし技術的な内容については、インストラクターに確認しましょう。



⑥ Web からの情報 【信頼度:約30～80%】

インターネットにワールドワイドな情報が溢れている現代は、Web も重要な上達の材料になります。

しかし、**あなたの知識や技術が低い時ほど、その情報を信用する事は危険**になります。

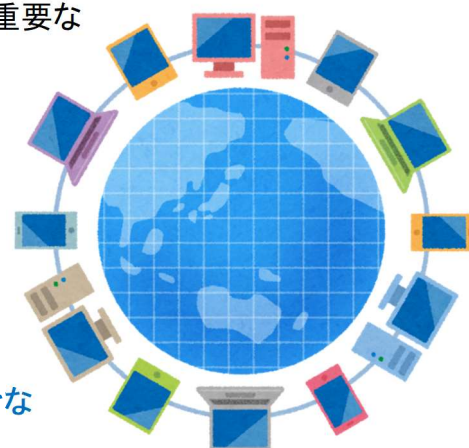
あまり気軽に真似したりしない様に気を付けて下さい。

特に海外は日本とは大きく環境や常識が違います。パイロットになった後でも、**フライヤー同士で海外フライトに行く様なことはかなり危険要素**を含んでいます。

但し、海外フライトはパラグライダーを続ける者にとって、**とても大きな魅力**の一つです。

是非、いつかはあの様な絶景の中でフライトすることを目指して、**モチベーションの維持向上**に役立ててください。

特に **ヨーロッパアルプス** は人生で一度は飛んでほしい地球上で最高の環境です。



⑦ 自分自身 【信頼度:0→100%】

最後に一番大事な上達要素は《自分自身》です。

この要素を詳しく説明すると、1 回分の座学内容になるので、今回は簡単にすると、始めた当初は自分への信頼度はほぼ0%だと思います。

スクール生としてステップアップしていく中で、その**信頼度を上げられるように努力**していきましょう。周りからの情報や経験を取り入れながら、常に自分と向き合い、自問自答して正解を感じて、自分の力量を積み上げましょう。

するとP 証取得の頃には60%くらい、XC 証～ベテランになる頃には90%くらいに近づけると思います。

【知識と経験を積んで、自分の判断力を磨く】

パラグライダーは見えにくい自然を相手にするだけに、人生そのものと同じ成長過程を必要とするスカイスポーツと言えると思います。



以上、きどころの長年の経験から導き出した答えですが、

少しでも参考になれば幸いです。